

Oracle Enterprise Manager Cloud Control (EMCC) 全体のインストール のフロー

データベースを管理する方法

作成したデータベースを OEM (Oracle Enterprise Manager) で管理しようとする場合には、データベースに EMDE をインストールする方法と、EMCC へデータベースを登録する方法の 2 種類が存在する

EMDE とは、Oracle インスタンスと同じホストで動作し、1 つの Oracle データベースだけを、それ専用の 1 つの OEM 画面で管理する方法です

EMCC は、サーバーで EMCC の管理用サービスである OMS (Oracle Management Service) を動かして、そこで複数の Oracle データベースを一括管理する方法です

後者である EMCC へデータベースを登録する方法についてを、このドキュメントにて説明を行う

インストール順序

手順1. 管理リポジトリ用データベース（**OMR**）の準備

※ Enterprise Manager Cloud Control インストール・ウィザードでは、必要となる管理リポジトリ・データベースの作成が同時に可能である

1. -1 Oracle システムのインストール
1. -2 Oracle Management Repository（**OMR**）用のオラクル・インスタンスの作成

手順2. 管理・制御用 OEM（Oracle Enterprise Manager）画面サーバーの準備

2. -1 Cygwin のインストールと起動
2. -2 **OMS** インストール用の OS ユーザーの作成
2. -3 Oracle Management Service（**OMS**）のインストール
『中央エージェント』も、同時にインストールされる
2. -4 『自己更新』の機能設定

~~2. -5 『自己更新』の機能を使った EMCC のモジュール更新~~



※ インストール時に更新処理を行うため不要

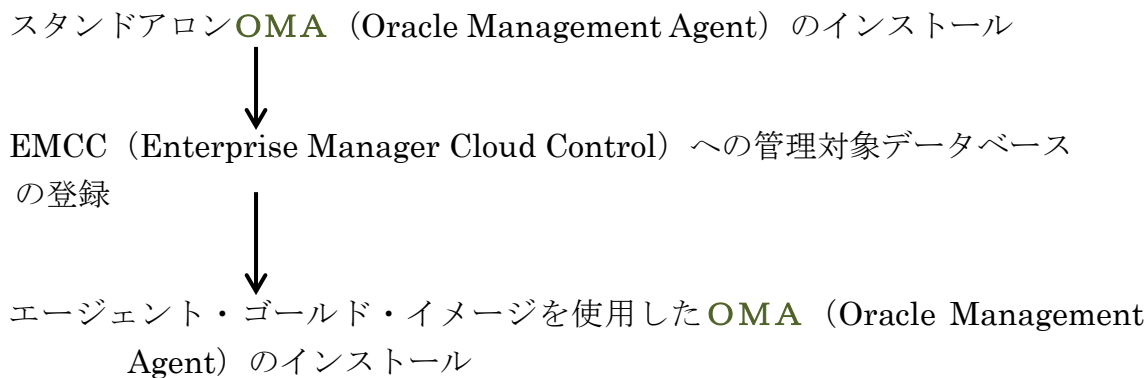
手順3. 管理対象データベースの登録

3. -1 Cygwin のインストールと起動
3. -2 SSHD サービスの設定
3. -3 OMA インストール用の OS ユーザーの作成
3. -4 SSH (リモート・ホスト実行コマンド) 用の秘密鍵・公開鍵の作成
3. -5 Oracle のソフトウェアのインストール
3. -6 管理対象となる Oracle データベースの作成
3. -7 配布用のスタンドアロン Oracle Management Agent (OMA) ・ソフトウェアの入手
3. -8 スタンドアロン Oracle Management Agent (OMA) の配布 (インストール)
3. -9 管理対象データベースを EMCC (Enterprise Management Cloud Control) への登録
3. -10 エージェント・ゴールド・イメージを使用した Oracle Management Agent (OMA) の配布 (インストール)
= データベース管理のために OMA が使用するファイルの配置

【その他】

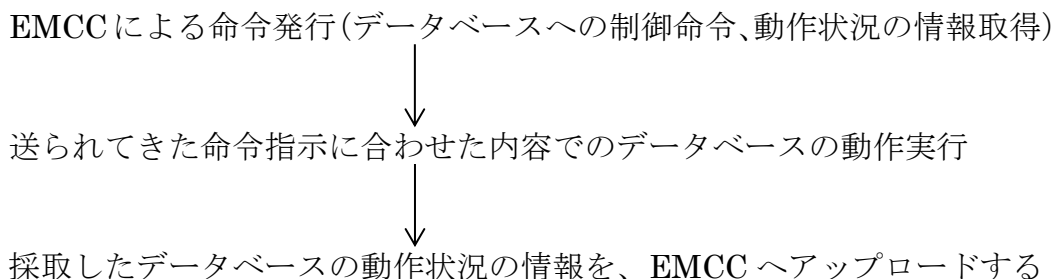
OMA コンポーネントのプログラムの更新

OMA エージェント (Oracle Management Agent) を動作させるまでの流れ



~~※ ファイルの配布については、管理対象データベースを EMCC へ登録することにより、初回の付随ファイルの配布が行われる
また、この登録により付随ファイルの更新データについては、スケジュールリングを使って自動配布が行われる
よって、ファイル配布の明示的な手動操作は無い~~

上の3つの設定により、OMA エージェントが動作可能となり、管理対象の Oracle データベースが EMCC の制御管理下に置かれ、以下のような機能が実行される



付随するファイルの配布について

付随するファイルと云うのは、「エージェント・ゴールド・イメージ」ファイルである

~~一度「エージェント・ゴールド・イメージ」を配布してしまうと、以降のアップグレードやパッチ・プランの適用が、ユーザーがエージェント・アップグレード・コンソールを使用して手動で行う必要がなくなる~~

Cygwin の必要性

『OMA をインストールする』場合、OMA マシンと OMS サーバーの両方に Cygwin が必要となるので、インストールを事前に行っておくこと

OMA マシンでは、Cygwin をインストールし、SSH サービスを起動する必要がある
https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/preinstall_req_cygwin_ssh.htm

OMS サーバーでは、OMS ユーザーとして ssh 用シェルスクリプトを実行する必要がある

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

SSH 用の秘密鍵と公開鍵について

OMA をインストールするためには、SSH を使ったリモートホストとの通信を行わなければならない、そのための公開鍵と秘密鍵が必要となる